

令和4年第3回区づくり推進横浜市会議員会議（南区）

令和4年8月31日（水）午後4時～

オンライン会議

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議題

- (1) 令和3年度 南区個性ある区づくり推進費の決算について
【資料1】・・・P1
- (2) 令和4年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について
【資料2】・・・P24
- (3) 令和5年度南区個性ある区づくり推進費の
編成に向けての考え方について
【資料3】・・・P47
- (4) その他

5 閉 会

区づくり推進横浜市議員会議運営要領

制 定 平成 6年 5月25日

最近改正 平成25年 8月 9日

1 目 的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招 集

会議は、市会議長が招集する。

3 構 成

会議は、当該区選出の市議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説 明 員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- (1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。
- (3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事 務 等

- (1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- (2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- (3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成16年12月10日より施行する。

附 則

この要領は、平成25年 8月 9日より施行する。

資料 1

(1) 令和3年度南区個性ある区づくり推進費の決算について

令和3年度 南区個性ある区づくり推進費 決算書

1 自主企画事業費

(単位：円)

区分	事業内容	予算額	決算額	差引
減災	みなみ減災推進事業<重>	13,590,000	12,551,974	1,038,026
賑わい	南区あったかいふるさとまつり事業<重>	32,369,000	22,884,064	9,484,936
	みなみ多文化共生推進事業<重> ほか4事業			
健やか	地域福祉保健計画等推進事業<重>	18,969,000	14,927,499	4,041,501
	健やか元気応援事業<重> ほか2事業			
子ども	すこやか子育て支援事業<重>	6,791,000	5,845,779	945,221
	青少年育成事業			
地域の力・着実に取り組む事業	地域の力応援事業<重>	27,251,000	38,100,028	▲ 10,849,028
	区役所運営事業 ほか6事業			
合 計 (21事業)		98,970,000	94,309,344	4,660,656

(事業名の(重)は重点事業)

2 統合事務事業費

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引
統合事務費	33,226,000	32,797,590	428,410
統合事業費	15,765,000	13,682,656	2,082,344
広報よこはま南区版発行事業	7,345,000	6,666,711	678,289
専門相談事業	1,402,000	1,372,228	29,772
スポーツ推進委員支援事業	2,585,000	2,041,444	543,556
青少年指導員事業	2,362,000	2,000,220	361,780
クリーンタウン事業	288,000	254,568	33,432
消費生活推進員事業	295,000	222,388	72,612
学校・家庭・地域連携事業	750,000	710,076	39,924
緊急時情報システム運用事業	558,000	415,021	142,979
健康づくり月間事業	180,000	0	180,000
合 計	48,991,000	46,480,246	2,510,754

3 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	事 業 内 容	予算額	決算額	差引
区庁舎等	区庁舎等管理運営費	127,578,000	132,080,215	▲4,502,215
土木事務所	土木事務所管理運営費	4,567,000	4,527,691	39,309
公会堂	公会堂管理運営費	39,294,000	40,404,490	▲1,110,490
地区センター・ スポーツ会館	地区センター（4施設）、スポーツ会館指定管理者委託料	161,205,000	161,983,140	▲778,140
青少年施設	こどもログハウス指定管理者委託料	7,965,000	7,965,000	-
老人福祉センター	老人福祉センター指定管理者委託料	28,724,000	28,724,000	-
コミュニティハウス	指定管理者委託料（5施設）、区民利用施設運営委託料（2施設）	91,076,000	91,292,500	▲216,500
スポーツセンター	スポーツセンター指定管理者委託料	38,467,000	38,519,231	▲52,231
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費	30,064,000	30,054,576	9,424
その他施設（広場・遊び場）	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等補助金	1,341,000	1,347,558	▲6,558
区庁舎・区民利用施設 修繕費	区庁舎、土木事務所、区民利用施設修繕費	3,200,000	2,975,043	224,957
合 計		533,481,000	539,873,444	▲6,392,444
南区個性ある区づくり推進費 総計		681,442,000	680,663,034	778,966

令和3年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

令和3年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業については、「減災」「賑わい」「健やか」「こども」を重点として、変化する社会情勢の中にあっても、地域の元気や暮らしの安全・安心などにつながる取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った予算編成を進めました。

事業の推進にあたっては、「仕事の基本」を組織全体で大切にしながら、それぞれの職位に応じた役割を果たすとともに、区役所全体でチーム力を発揮します。また、区取組をしっかりと伝えながら、これからも地域の皆さまと「共感と信頼」をはぐくみ、暮らしやすいまちをつくります。

重点分野1 減災

大地震、台風などの被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助力と地域の共助力を高めるとともに、危機管理体制の強化に向けた取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

【重点事業】みなみ減災推進事業

重点分野2 賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財などの資源を生かして、市内外に向けた魅力の発信に力を入れるとともに、区民のスポーツへの関心を高めます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

【重点事業】南区あったかいふるさとまつり事業

【重点事業】区民スポーツ支援事業
魅力発信・賑わいづくり事業
みなみ商店街等活性化事業
区民文化活動支援事業

【重点事業】みなみ多文化共生推進事業

重点分野3 健やか

食育の推進、生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、感染症予防への取組を継続します。

【重点事業】健やか元気応援事業

【重点事業】地域福祉保健計画等推進事業
いきいきシニア健康応援事業

【重点事業】認知症早期対応・見守り支援事業

重点分野4 こども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

【重点事業】すこか子育て支援事業
青少年育成事業

【再掲】みなみ多文化共生推進事業

【再掲】区民スポーツ支援事業

地域の力・着実な取組

区民の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組むとともに、交通安全・防犯対策、ごみの減量や温暖化対策などの取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った区役所づくりを進めます。

【重点事業】地域の力応援事業

区役所運営事業

みなみチャレンジごみ減量事業

地域で守ろう私の安全安心事業

クリーン・グリーンロードみなみ

広報広聴事業

地域住民との連絡調整事業

食とくらしの衛生支援事業

令和3年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行実績

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、

- ・事業のすべてを中止したもの
- ・事業を縮小して実施したもの
- ・代替の事業を行ったもの

中止

縮小実施

代替実施

1 減災

1 みなみ減災推進事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
		1,359万円	1,255万2千円

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上のための防災啓発事業や減災対策支援事業、「共助」の取組である災害時要援護者支援事業、そして災害対応力の向上のための「公助」の取組である災害対策本部運営強化事業、地域防災拠点運営強化事業及び災害医療体制強化事業に取り組みました。

【自助】

(1) 防災啓発事業

- ・区民の自助・共助意識向上のための「みなみ防災フェスタ」を中止し、代替として「南区防災パネル展」を実施しました。 **代替実施**
- ・自治会町内会や若年層等を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発しました。（8回）
- ・若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援しました。（9月・永田小 10月・南吉田小）
- ・防災に必要な知識等をパネルにし、「南区防災パネル展」で啓発に活用しました。（2月）

(2) 減災対策支援事業

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレイカーの設置費用の一部を助成し、区民の自助対策を支援しました。
 - ア 家具
 - ・・・件数：14件（第1期・4月～7月 / 第2期・9月～1月）
 - 補助率：重点対策地域及び対策地域※ 10分の9
 - 一般地域 3分の2
 - ※「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針による重点対策地域及び対策地域」
 - イ ガラス
 - ・・・件数：12件（8月～11月）
 - 補助率：3分の2
 - ウ 感震ブレイカー
 - ・・・件数：295件（4月～1月）
 - 補助率：5分の2（危機管理室の補助（2分の1）に上乗せし合計で10分の9補助）
- ・避難情報等の警戒レベルの見直しに伴い、南区防災マップ(12,000部)、みなみ防災ガイド(10,000部)を改訂・増刷しました。（9月）

【共助】

(3) 災害時要援護者支援事業

- ・区保有の要援護者名簿及び要援護者の居所を表示した地図を自治会町内会に提供し、要援護者への声掛け、訪問活動等顔の見える関係づくりに向けた取組を支援しました。
- ・要援護者名簿の受領により要援護者支援の取組を進める自治会町内会に対して、活動支援物品の支給等を行いました。（3月）

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄を更新しました。（～9月）
- ・風水害時に開設する避難場所の環境改善のため、備品等を拡充しました。（～9月）
- ・風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難指示対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持しました。

(5) 地域防災拠点運営強化事業

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理を行い、災害に備えました。(～5月)
- ・地域防災拠点訓練の充実が図れるよう、資機材取扱研修を実施しました。

(6) 災害医療体制強化事業

- ・災害時においても安定した医療を提供できるよう、南区災害医療物品等研修会(7月・3団体中2団体実施)、南区医療救護隊訓練(12月)、南区災害医療連絡会議(3月)を開催するとともに、医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図りました。

縮小実施

主な増減理由	・減災対策支援事業における、家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレイカー設置補助の申請数減に伴う補助金及び委託料の残【101万3千円】
--------	---

2 賑わい

1 南区あったかいふるさとまつり事業 《重点》	予算額	決算額	差引
		1,170万円	790万円
<p>それぞれに特徴あるまつりを通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進しました。</p> <p>(1) 南まつり補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民相互の交流を促進するとともに、「子どもも大人も楽しめる」まつりとして、蒔田公園にてイベントを実施する予定でしたが、中止となりました。 中止 <p>(2) 南区桜まつり補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 春の風物詩として多くの方々が楽しめるよう、大岡川プロムナードにて、ライトアップとぼんぼり設置について、新型コロナウイルス感染症などへの対策を考慮のうえ、実施しました。 縮小実施 (令和3年4月・第31回 / 令和4年3月・第32回) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 南まつり補助事業における、イベント中止による補助金の残【530万円】 南区桜まつり補助事業において、感染症対策を考慮して実施したことによる補助金の増【△150万円】 		

2 区民スポーツ支援事業 《重点》	予算額	決算額	差引
	433万5千円	161万3千円	272万2千円
<p>区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援しました。</p> <p>また、子どもたちがオリンピック・パラリンピックと触れ合うイベント等を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図りました。</p> <p>(1) スポーツ協会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区スポーツ協会主催の地域貢献事業（みなっちランニングフェスタ（11月）、みなっちスポーツフェスタ（2月））は中止となりました。 中止 <p>(2) 区民スポーツ参加促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、区民の機運を盛り上げるため、オリンピック種目の放映と展示等を一緒に行うコミュニティライブサイトを実施する予定でしたが、中止し、代替事業として南区役所1階ギャラリーで、東京2020オリンピック・パラリンピック報道写真パネルや聖火リレートーチの巡回展示を実施しました。（10月） 代替実施 また、南区区民少年野球大会と南区小学校球技大会へオリパラ関連の参加賞やその他競技備品を配布しました。（7、11月） 幼少期からスポーツに親しめる環境づくり、健康づくりを目指すため、区内の幼稚園児・保育園児を対象に、例年実施している体操プログラムを取り入れた「あつまれ！みなっちげんきっず」のオリジナルのDVDを作成し、各園で実施しました。（7～3月） <p>(3) 区民体力づくり事業（南の丘トレイルウォーキング）</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民の体力づくりを目的とした、アップダウンを含む10km以上の健脚者向けのトレイルウォーキングは中止となりました。 中止 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 区民スポーツ参加促進事業における、コミュニティライブサイトの中止に伴う委託料等の残【211万円】 スポーツ協会支援事業における、地域貢献事業の中止に伴う補助金の残【30万円】 区民体力づくり事業における、南の丘トレイルウォーキング中止に伴う補助金の残【27万円】 		

3 魅力発信・賑わいづくり事業	予算額	決算額	差引
		373万円	339万9千円
<p>区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みました。</p> <p>(1) 魅力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜に関する学習会を区内小学校で開催するなど区の花「さくら」の普及啓発に取り組みました。(10月～3月・6回) ・大岡川プロムナードの桜並木へ樹名板を設置しました。(2月・425本) <p>(2) 魅力発信の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南区ガイドマップ・区内版」に加え、新たに「区外版」を発行し、観光案内所や市内ホテル等にも配架しました。(3月・30,000部) ・京急電鉄株式会社との連携により、「大岡川桜並木キャンペーン」を実施しました。(3月) 			
主な増減理由	・民間企業との連携内容の見直しによる委託料の減【25万7千円】		

4 みなみ商店街等活性化事業	予算額	決算額	差引
		305万円	303万4千円
<p>地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街等の活性化を図りました。</p> <p>(1) 商店街活性化イベント補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。 <p>(2) 商店街等活性化支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」及び防災フェスタと合同で行う「商店街フェスタ」を南区商店街連合会と連携して開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しました。中止 ・商店街PR用デジタル広告の作成及び放映並びに各商店街が制作しているパンフレットについて、各所での配架を行い、市民や来訪者など、広く目に留まるようPRを行いました。 ・コロナ禍により影響を受けている飲食店を支援するため、テイクアウト&デリバリー横浜 南区マップを3方面別に制作、配布しました。(井土ヶ谷・蒔田エリア3,500部、弘明寺・六ツ川エリア3,500部、南太田・吉野町・阪東橋エリア3,000部発行) 			

5 区民文化活動支援事業	予算額	決算額	差引
	168万3千円	159万1千円	9万2千円
<p>区民が主体的に行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、南区文化賑わい支援補助金にて活動団体を支援しました。また、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供するために、作家等の講師による読書活動推進講演会を開催しました。</p> <p>(1) 南区文化祭支援事業 ・南区文化祭（10～11月）は中止となり、代替事業としてパネル展が実施されました。（12月・区役所多目的ホール） 代替実施</p> <p>(2) 南区文化賑わい支援事業 ・区民の文化活動の活性化、又は賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金交付による支援を行いました。（1団体）</p> <p>(3) 南区読書活動推進事業 ・区内における読書活動を推進するため、読書活動推進講演会を実施しました。また、読書活動の担い手である区内施設の職員やボランティアを対象に、図書修理講座を実施しました。（講演会：9月・50人参加、11月・33人参加 / 図書修理講座：3月・10人参加）</p>			
主な増減理由	・南区賑わい支援事業において、交付団体が当初の見込みより少なかったことによる補助金の残【35万円】		

6 みなみ多文化共生推進事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
	787万1千円	534万7千円	252万4千円

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行いました。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣、チラシの翻訳のほか、ごみ集積場所のステッカーを多言語で作成し、ごみの不適正排出の防止を行いました。

(1) 外国人共生支援事業

- ・ 弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行いました。
- ・ 区内で行われるイベント等への通訳派遣を行いました。
- ・ 自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳を行いました。
- ・ 外国籍等青少年の地域でのつながりの強化や、地域・社会での活躍促進を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交換会、外国籍等青少年向けに交流会などを実施しました。

(2) 学校を核にした多文化共生事業

- ・ 外国籍等の児童が多い小学校で、外国人ボランティアによる、外国の文化や言葉、スポーツ、遊びなどを紹介するプログラムを実施しました。また、地域における多文化理解を推進するため、保護者が参加するプログラムも実施しました。(61回・6,407人参加・南吉田小、中村小、日枝小、石川小、太田小、蒔田小)
- ・ 小学校で活動する外国人ボランティア初心者向けの研修会を実施しました。(12月・21人参加・日本語、英語、中国語で実施)

(3) 通訳ボランティア配置事業

- ・ 通訳ボランティアを区役所窓口へ配置しました。
- ・ 来庁者の多い窓口職場にタブレット端末を設置し、テレビ電話通訳(英語・中国語ほか)による案内を行いました。
- ・ 外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中国語)をホームページに掲載し、転入者や希望者へURLや二次元コードを記載したちらしを配布しました。

(4) 多言語による子育て支援事業

- ・ 乳幼児健診時に通訳を配置しました。(中国語・英語・タガログ語)
- ・ 児童扶養手当現況届集中受付時に通訳を配置しました。また、保育所入所集中受付時は、通訳ボランティアを活用し、対応しました。(中国語)
- ・ 各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行いました。(中国語・英語・タガログ語・ハングル)

(5) 多言語によるごみ適正排出促進事業

- ・ ごみ適正排出促進ステッカー(タガログ語・ハングル)を作成し配布しました。
- ・ 外国籍等の住民に対し日本語教室などでの出前講座を実施しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通訳ボランティア配置事業において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ボランティア配置数が減少したことによる委託料等の残【187万円】 ・ 多言語による子育て支援事業における、無料通訳ボランティアの活用等による委託料の残【31万円】 ・ 学校を核にした多文化共生事業における、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う実施回数減による報償費の残【20万円】
--------	--

3 健やか

1 健やか元気応援事業 <重点>	予算額	決算額	差引
	894万6千円	535万6千円	359万円
<p>高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、区民が地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりに取り組みました。</p> <p>(1) 健康づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対応するため、必要物品を備えるとともに、専門的な健康相談や調査、保健指導、相談支援などを強化しました。 幼少期からの食育を推進するため、市平均と比べると低い野菜摂取量の向上を目指し、区で行う事業やイベント等で、推定野菜摂取量（ベジチェック®）を測定しました。また、不足しがちな野菜を補えるよう、野菜レシピ集を配布し、啓発を行いました。 離乳食作りに不安や負担を感じている第1子の養育者を対象に、離乳食講座を開催しました。（年4回中2回開催） 縮小実施 生活習慣病の発症や悪化を予防するための講座は中止しましたが、生活習慣改善につなげるための相談等での啓発を通じて健康習慣定着に向けた風土づくりを行いました。 縮小実施 食育関係者との意見交換や食育普及啓発のイベントなどは中止しました。 中止 東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせた感染症の広報・啓発活動は中止しましたが、がん、結核・HIV、熱中症対策、禁煙・受動喫煙などの健康情報発信を行いました。 縮小実施 <p>(2) 特定健診受診率向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診未受診者に電話により受診勧奨を行いました。（12～1月） 昨年度区独自で作成した外国語（中国語・英語）の案内リーフレットを活用し、外国籍等の加入者への受診啓発に取り組みました。 <p>(3) 自殺対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つながり」ができるよう、区民を対象とした人権啓発講演会と連携して、自殺対策事業の更なる普及啓発を図りました。（12月・吉野町市民プラザ・出席者60人、オンライン参加者62人） 南区職員全員がゲートキーパーになることを目標に、研修を実施し、受講者に『南区ゲートキーパーカード』を配布することで、職員の意識向上につなげました。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自殺リスクが高まっているため、鉄道事業者や関係団体等と連携して、ポスター掲出を通じて普及啓発を図りました。 自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、区役所等で啓発キャンペーンを実施しました。 <p>(4) 障害者サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者の定期的な運動機会の確保を通して、自主的な健康づくりが可能になることを目的に区内の障害福祉サービス事業所を利用する方を対象とした出張形式の運動指導を行いました。（7～3月） 食生活や口腔ケア等の生活習慣に関連した健康管理の普及啓発を目的に、区内の障害福祉サービス事業所を会場とした出張講座を実施しました。（11月、12月） 地域精神保健家族会に対し、同じ立場にあるアドバイザーが精神障害者とのコミュニケーション技法に関する講義を行いました。（6月、7月） 障害児者の支援機関や当事者団体と連携し、障害者施設・作業所をまとめたパンフレットの周知を通して、障害者と地域がつながるきっかけづくりを進めました。 <p>(5) いきいきふれあい南なんデー</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となりました。 代替事業のオーラルフレイル講演会も中止し、講演内容をホームページに掲載しました。 代替実施 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> いきいきふれあい南なんデー中止に伴う補助金の残【220万円】 新型コロナ感染対応の人材派遣委託について、局からの配付予算で対応したことによる委託料の残【83万9千円】 		

2 地域福祉保健計画等推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引
	430万円	444万3千円	△14万3千円

コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から令和2年度に実施できなかった区民意見募集や地域での会議を行い、第4期南区地域福祉保健計画を策定しました。

(1) 南区地域福祉保健計画推進事業

- ・福祉保健に関わる団体の連携を推進するため、南区地域福祉保健計画推進連携会議（愛称：みなっち茶屋）を開催しました。（12月）
- ・第4期地域福祉保健計画（令和3年度～7年度）の区（全体）計画については、区民意見募集を行い（10月）、地区別計画については、関係機関や地域の方の意見を伺いながら策定しました。（3月）
- ・様々な広報媒体を通じて、第4期計画の策定状況を周知しました。

(2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業

- ・南区の保健・医療・福祉等の連携強化等を目的として、関係者や団体から助言をいただく懇談会を開催しました。（1月）

(3) 地区別計画応援事業

- ・地区社会福祉協議会に、地区別計画に位置付けられた事業に対する補助金を交付しました。
(9地区)
- ・地域活動団体に、第4期計画（地区別計画を含む）の推進に寄与する活動に対する補助金を交付しました。（2団体）

3 いきいきシニア健康応援事業	予算額	決算額	差引
		289万円	273万円

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた、南区行動指針を推進しました。

また、高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取組を進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めました。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業

- ・地域包括ケアシステムの構築とその啓発に向け、各事業の推進のための高齢者実態分析を実施し、その内容を「地域包括ケアシステムの構築に向けた南区アクションプラン」（令和4年3月策定）に反映させました。
- ・各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議について、地域分析を深めることを目的に、各地区へ講師を派遣（3包括支援センターで実施）する等の開催支援を行うとともに、区レベル地域ケア会議を開催しました。（12月）

(2) お元気21高齢者推進事業

- ・介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かいご予防サポーター」の養成と活動支援を行いました。（養成講座6～7月・全4回 19人）
- ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施（6会場実施（1会場中止））するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施しました。

縮小実施

(3) 地域ささえあい活動推進事業

- ・民生委員等による高齢者等への定期訪問事業を支援しました。

4 認知症早期対応・見守り支援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
	283万3千円	239万8千円	43万5千円

認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行いました。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しました。

(1) 認知症の啓発

- ・地域ケアプラザ等身近な場所で医師などによる講演会を実施しました。
(11月・77人参加(9月は中止)) **縮小実施**
- ・区民の集まるイベント等でリーフレットを配布し、認知症の早期発見や早期診断につながるきっかけをつくりました。
- ・認知症キャラバン・メイト支援のための講座等を開催しました。(6月)
- ・感染症拡大防止を考慮した認知症の啓発に向け、啓発映像を作成しました。(市営地下鉄で11/15～12/12まで放映)

(2) 認知症サポート医との連携

- ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医を中心とした体制で認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。 **中止**
- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催しました。(6月)

(3) 見守り支援

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)や協力機関(公共交通機関)と運用しました。
- ・あんしんネットワークの協賛・協力機関とともに、認知症に関する知識や課題を共有し、支援体制の強化を図ることでネットワークの向上に取り組む連絡会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代替として「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」協賛機関に対し、登録証として渡している「協賛機関ステッカー」を刷新し、送付しました。(3月) **代替実施**

(4) 権利擁護に係る講演会の開催

- ・広く区民に対し、自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解とエンディングノートの普及啓発を目的とした「講演会」を開催しました。(7月・60人参加/10月・65人参加)
- ・エンディングノートをテーマとした10月講演会を教材DVD化し、地域包括支援センターと区社会福祉協議会に配布しました。

主な増減理由	・認知症の啓発において、啓発映像が予定より安価で作成できたことによる委託料の残【49万4千円】
--------	---

4 こども

1 すこやか子育て支援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
	545万円	481万円	64万円
<p>養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化しました。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止しました。</p> <p>(1) 赤ちゃん学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催しました。なお、1会場あたり10回の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止（9～10月、2～3月）し、1会場あたり6回の実施となりました。縮小実施 <p>(2) 土曜両親教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 両親教室（平日開催）に参加が困難な就労妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催しました。（6月、9月、12月、3月） <p>(3) 児童虐待予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行いました。 アドバイザーの助言や居場所マップの配布を通して、子ども食堂などの居場所づくり活動を支援しました。また、子どもの居場所マップの配布や居場所の活動団体のポスター掲示を通して、子どもの居場所を地域に広く周知しました。 地域で子どもや養育者を見守り、児童虐待を未然に防ぐために、子育て支援に取り組む支援者を対象に「支援者スキルアップ研修」を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。中止 <p>(4) 障害児地域交流活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児夏休み支援運営委員会」に補助金を交付しました。 <p>(5) 子育て情報提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する相談窓口を紹介する「子ども・家庭支援相談リーフレット」や、地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成しました。 個別支援を効果的に実施するため、窓口等でタブレット端末も活用した相談支援を行い、妊娠期から切れ目のない育児支援を行いました。 <p>(6) 保育園応援隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を通じ、地域の方々と保育園児が交流し、児童の健全な育成を図るとともに、地域との連携を深めました。各園で花苗の手入れや公園清掃などの屋外活動を中心に行い、地域に貢献しました。 <p>(7) みなっち杯えきでん交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染のリスクを避けるため中止し、代替として年長児による共同作品をデザインしたポスターを作成し、区内の京浜急行4駅、市営地下鉄4駅及び区役所内の区民ギャラリーに展示しました。（11～12月）代替実施 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん学級における、一部中止による報償費の残【43万円】 児童虐待予防事業における、事業縮小に伴う消耗品費の残【10万円】 障害児地域交流事業における、事業内容縮小（新型コロナウイルス感染症対策）による補助金の残【10万7千円】 		

2 青少年育成事業	予算額	決算額	差引
	134万1千円	103万5千円	30万6千円
<p>地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付しました。</p> <p>(1) 青少年活動補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民少年野球大会（5～7月）を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ、補助金を交付しました。 ・青少年異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」は中止となりました。 中止 ・青少年参画を図りながら実施する作文募集・表彰・朗読発表の「ボイス・オブ・ユース事業」を実施する青少年指導員協議会へ補助金を交付しました。なお、ボイス・オブ・ユースのテーマは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」と「長引くコロナ禍で思うこと」となりました。（表彰式は、各学校で分散開催） ・ボイス・オブ・ユースの入選作品の作文集を自治会・町内会長へ配布・紹介し、地域とのつながりを深めました。 <p>(2) 学校と地域の交流応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との調整等により、区内学校の児童・生徒と地域住民との交流活動を支援しました。 ・学校・地域コーディネーターの活動促進のため、連絡会や研修会を開催しました。（5回・69人）また、希望する学校に、コーディネーター活動への助言や提案を行うアドバイザーを派遣し、取組への支援を行いました。（別所小：3回、永田台小：3回、太田小：5回） ・市立横浜総合高校が「総合的な学習の時間」の一環として実施する「横総生にオファーです」において、地域の課題解決策の提案を生徒に依頼し、その成果を活用しました。（8～1月） 			
主な増減理由	・ふれあいキャンプ中止による補助金の残【25万円】		

地域の力

1 地域の力応援事業 <重点>	予算額	決算額	差引
		364万円	288万4千円
<p>地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域の力を応援するための基礎となる取組を行いました。</p> <p>(1) 地区別情報収集・提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域別データ集や、各課の業務データを活用した研修を実施し、データの可視化や利活用の方法を職員に浸透させました。(～3月) 区役所内のデータの共有化に向けた準備を進めました。(～3月) <p>(2) 地域連携情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手後継者づくり、他の自治会町内会や学校等との連携による取組などの好事例を地域情報誌「キラリ」及び区のホームページで積極的に発信しました。(キラリ発行：2回) 区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け研修を実施しました。(転入職員向け：5月・73人、地域支援チーム向け：10月・73人) ICT機器の体験講習会や機器の貸出を通じ、地域活動団体等にICTを活用したコミュニケーションを身近に感じていただき、地域の新しいつながり、新たな活動スタイルのきっかけづくりを応援しました。(講習会：5回・6団体、貸出：3団体) <p>(3) コーディネーター派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源発掘・連携支援のため、団体の主体的・継続的な活動を促進することを目的に活動に対する助言等を行う専門家を派遣しました。(1団体・計3回派遣) また、地域施設間連携事業(まるごとみなみ)を推進するための情報交換を行うとともに、地域の人材発掘やつながり作りを進めました。 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 地区別情報収集・提供事業について、入札残による委託費の減【25万1千円】 地域連携情報発信事業における印刷製本費の残【24万3千円】 コーディネーター派遣事業について、コロナ禍による地域活動停滞に伴い、コーディネーター派遣数が想定より少なかったことによる報償費の残【26万1千円】 		

2 クリーン・グリーンロードみなみ	予算額	決算額	差引
		60万円	60万5千円
<p>地域の身近な道路の清掃、美化活動を行うハマロード・サポーターと協働を進め、区民の大切な財産である街路樹を適切に維持管理する手法の検討や対策を実施していきます。</p> <p>(1) ハマロード・サポーター協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年度に作成した「低木植樹帯管理マニュアル(素案)」について、ハマロードサポーターの意見を反映させ、「低木植樹帯管理マニュアル(案)」を作成しました。 2年度の調査結果を基に補植を進めるとともに、生活道路等の植樹帯調査を実施しました。 			

<参考>

南区元気な地域づくり推進事業 【市民局】	予算額	決算額	差引
		184万9千円	168万7千円
<p>自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体や人々と区役所が連携して、地域課題の解決に向けた取組を支援しました。</p> <p>(1) 地域活動補助金事業 ・地域による地域課題解決に向けた取組を支援するため、みなみ・ちからアップ補助金事業を実施しました。(新規1団体、継続2団体)また、交付団体による活動発表会の様子を動画で公開しました。(2月撮影、3月動画公開)</p> <p>(2) 協働の地域づくり推進事業 ・地域課題についての地域と行政の意見交換や情報共有を行う場として、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。(5～6月・10地区開催・254人参加)</p> <p>(3) 地域人材づくり事業 ・地域活動の担い手不足とコロナ禍による地域活動の課題解決に向け、みなみ・地域づくり大 学校(寺子屋みなみ)において、補助金交付団体を対象とした情報交換会を実施しました。(10～12月・3回開催・40人参加) また、区民が企画する講座を実施しました。(10～1月・8回開催・57人参加)</p>			

大規模団地活性化支援事業 【建築局】	予算額	決算額	差引
		274万円	259万円
<p>平成31年4月に開設した地域活動拠点の支援を行うとともに、団地住民の合意形成を支援し、「団地再生ビジョン」を策定しました。</p> <p>(1) 団地サポーター派遣 ・ビジョンの策定等に対し、支援を実施する団地サポーターを派遣しました。</p> <p>(2) エリアマネジメント準備事業補助 ・活動拠点を運営するNPO法人に対して、エリアマネジメント事業に対する補助を行いました。</p>			
主な増減理由	・団地サポーター派遣について、入札残による委託費の残【15万円】		

管理不全空家対応モデル検証事業 【建築局】	予算額	決算額	差引
		市合計 3,935万円	市合計 2,445万円
<p>所有者等に対する管理適正化の指導を要する空家について、建築局及び18区の連携により、指導強化に向けた事業を実施しました。</p> <p>(1) 現場調査、所有者調査、専門家派遣 ・危険度を把握する現場調査、早期指導のための所有者調査や複雑な課題に対応する専門家派遣を行いました。</p> <p>(2) 相談体制強化と活用促進 ・所有者の自主改善を進める総合案内窓口の運営、空家所有者に対する活用補助や啓発活動を行いました。</p>			
主な増減理由	・空家所有者に対する活用補助が、当初見込みより申請件数が少なかったことによる補助金の残【1,000万円】		

着実に取り組む事業

1 区役所運営事業	予算額	決算額	差引
	498万6千円	1,828万9千円	△1,330万3千円
<p>区民や職員の人権意識の向上を図る人権啓発研修等を実施したほか、来庁者に使いやすい庁舎環境を整備しました。また、市税の申告時期に身近に相談ができる機会を設け、納税者の利便性向上を図ったほか、南区統計概要を発行し区政情報の提供を行いました。さらに、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、身近な緑の維持・保全に取り組みました。</p> <p>(1) 人権啓発推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民を対象とした人権啓発講演会を自殺対策事業（福祉保健課）と連携して実施しました。（12月・吉野町市民プラザ・出席者60人、オンライン参加者62人） 職員向け人権啓発研修を実施しました。（7～1月） <p>(2) 庁舎環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要度・緊急度に応じて庁舎環境の改善を図りました。 庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務等を実施しました。 戸籍課及び保険年金課の窓口発券機を更新し、混雑状況をリアルタイムに区ホームページから配信することで、窓口サービスの向上を図りました。（3月） <p>(3) 市税啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 来庁者が集中し混雑する申告期間に、専門家による申告相談を実施するとともに、要件ごとの窓口スムーズに案内することで、混乱防止、待ち時間の縮小等、申告体制の充実を図りました。（2～3月・19日間・552人） <p>(4) 区政推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めました。 <p>(5) 統計概要の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計概要「統計で知る みなみ」の作成を行いました。（2月） <p>(6) 温暖化対策普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業、団体が提供する環境に関する出前講座を区内市立小学校に紹介しました。（5月・紹介冊子配布17校） 希望する地域のグループ等に対し、緑のカーテン栽培物品を提供しました。（4月・16グループ173人参加） <p>(7) 緑花推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及花「コスモス」をはじめとした花の種・苗等を、区内の市立小・中学校、保育園、公園愛護会へ配布しました。（9～3月） ①区内市立小中学校13校、市立保育園4園へ配布（10月） ②南土木事務所を通して、公園愛護会関係者へ配布（2月・サクラソウ苗600株、コスモス種等） 			
<p>主な増減理由</p>	<p>・庁舎環境整備事業における、感染症対策物品やWEB会議用備品や受付・発券システムの更新等に伴う消耗品費及び備品購入費の増【△700万4千円】及び窓口消毒業務等委託料の増【△612万9千円】</p>		

2 広報広聴事業	予算額	決算額	差引
		162万4千円	149万1千円

南区への転入者等に区民生活マップで区政情報を提供しました。また、区民のご意見ご要望を伺い、区政・市政に反映させる広聴事業を行いました。

(1) 広報・広聴事業

- ・区民生活マップを発行し、転入者や希望者へ配布しました。

主な増減理由	・区民生活マップデータ作成・印刷の契約実績による減（13万3千円）
--------	-----------------------------------

3 みなみチャレンジごみ減量事業	予算額	決算額	差引
		368万9千円	362万4千円

横浜市一般廃棄物処理計画（ヨコハマ3R夢プラン）の削減目標（2017年度比▲3%以上）に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進しました。

(1) ヨコハマ3R夢プラン推進事業

- ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（①プラスチック対策（永田みなみ台地区、六ツ川地区）、②食品ロス削減（中村地区、南永田山王台地区））を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進しました。
- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭・各種イベント・キャンペーン）での啓発活動を行いました。（10月）
- ・マイクロプラスチック及び食品ロスの削減啓発ポスターを作成し、区内8駅、公共施設、スーパーなどにおいて、掲出を行いました。（8月、11月、4年1月）
- ・幼稚園・小学校等への出前講座を行いました。
- ・3R夢会議を4地区ずつ計4回開催する予定でしたが中止となりました。中止
- ・単身者向け賃貸住宅の居住者にごみ出しルールを広めるため、神奈川県宅建協会加入店舗を通じてリーフレット等広報物の閲覧を促進しました。
- ・3R夢プランの具体的な取組を紹介するため、親子を対象とした3R夢学習会を開催しました。（3月）

(2) つながり清掃ウォーク、不法投棄・不適正排出防止事業

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催にあたり、地域の美化活動の輪を推進することを目指して、区民や企業等の団体が日頃の清掃活動と区内一斉清掃を行う「つながり清掃ウォーク」を2回実施しました。（5月・11月、延べ3,821人参加）
- ・不法投棄排出防止看板等の告知物を製作し、関係機関と連携して区域での啓発を実施しました。
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉期の時期に、障害者地域作業所へ委託しました。（4月、10～12月）

(3) 南区環境にやさしい街づくり推進本部会議

- ・区推進本部会議・功労者表彰を书面開催しました。（5月）

4 地域住民との連絡調整事業	予算額	決算額	差引
	348万円	250万2千円	97万8千円
<p>地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施しました。</p> <p>(1) 配送業務の委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 区等が自治会町内会に周知、回覧・掲示依頼する印刷物等を指定する場所に配送しました。(8月、12月を除く各月) <p>(2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、市長表彰対象者(会長在職期間10年以上)及び5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から自治会町内会長感謝会は中止し、感謝状等は郵送で送付しました。(3月) 中止 自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈しました。(3月) <p>(3) 自治会町内会加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 宅建協会横浜南部支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めました。(83店舗送付) 若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを増刷・配布し、将来の担い手確保につなげました。 <p>(4) 補助金説明会(相談会)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金について、新しく役員になった方々の負担軽減を図り、且つ、受付から補助金支出までをスムーズに行うため、説明会(相談会)を実施しました。(5月・区役所・13団体・13人参加) 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会長感謝会の中止による委託料の残【53万5千円】 配送業務の委託における入札残【22万6千円】 		

5 地域で守ろう私の安全安心事業	予算額	決算額	差引
		819万3千円	779万6千円

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全の啓発、放置自転車対策及びスクールゾーン対策、地域の自主的な防犯活動支援及び防犯意識を高める啓発を実施しました。

(1) 交通安全支援事業

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました。(4～7月・15校実施、10月・2校)
- ・各種交通安全運動(4月、7月、9月、12月)、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行いました。
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を多目的ホールで縮小開催し、交通安全功労者表彰を実施しました。(9月) **縮小実施**
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介しました。(10月～1月・3園実施)
- ・南交通安全協会との協働事業によりランドセルカバーを作成しました。

(2) スクールゾーン対策事業

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面標示等の新設・補修を実施しました。(7～3月) また、スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(8月)

(3) 放置自転車対策事業

- ・区内鉄道8駅に自転車等の放置防止や自転車マナーアップのための監視員を配置しました。

(4) 防犯啓発活動

- ・特殊詐欺を防止するツールとして、県の補助金(神奈川県特殊詐欺被害防止対策事業補助金)を活用し、警察が推奨する抑止効果の高い、迷惑電話防止機能付き電話機などの活用を支援しました。
- ・被害が増加している特殊詐欺対策を引き続き強化するため、キャンペーン、防犯教室、地域紙を活用した啓発などを警察と連携して実施しました。
- ・消費生活推進員や地域の方が行う防犯活動を広報、周知することで、活動の機会を増やすことにつなげました。

(5) 地域防犯活動支援

- ・こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、新入学児童へ防犯ブザーを配布しました。(3月)
- ・自治会町内会への防犯物品の配布(7月)、防犯パトロール委託によるパトロール等を行いました。

(6) 防犯情報提供等

- ・安全で安心なまちづくりを推進するため、関連団体の連携による啓発イベントを行いました。(12月)
- ・登録した区民へ防犯情報等をメール配信しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策事業における、監視員配置業務委託料の入札残【19万3千円】 ・防犯啓発活動及び地域防犯活動支援、防犯情報提供等における、啓発物品の購入数の減による消耗品費の残【18万円】
--------	--

6 食とくらしの衛生支援事業	予算額	決算額	差引
	103万9千円	90万9千円	13万円
<p>区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行いました。また、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発、ペット飼育のマナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけを行いました。さらに、高齢者施設での動物ふれあい活動を行っているボランティア団体の支援を行いました。</p> <p>(1) 食品衛生知識・衛生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区内の飲食店等に対し、食中毒予防に関するリーフレットを配布し、衛生知識の普及啓発を行いました。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを継続して周知しました。 <p>(2) 衛生害虫等対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねずみ、衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行いました。 <p>(3) 人と動物との共生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のマナーに関するチラシ等の配布を行いました。 ・災害時用ペットカードを活用した普及啓発を行いました。 ・人と動物とのふれあいセミナー（講演会）は、新型コロナ拡大のため中止しました。 中止 <p>(4) 動物ふれあい（動物介在）活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体による高齢者施設等への訪問活動の支援（ボランティア動物適性判定会）を行いました。（11月、（5月は中止） 縮小実施 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人と動物との共生事業における、セミナーの中止による報償費の残【9万円】 ・動物ふれあい（動物介在）活動推進事業における、ボランティア動物適性判定会実施回数減による手数料の残【6万円】 		

資料2

(2) 令和4年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

1 区別総括表

(単位:千円)

区分	令和4年度予算	令和3年度予算	差引
自主企画事業費	98,990	98,970	20
統合事務事業費	49,033	48,922	111
統合事務費	33,266	33,157	109
統合事業費	15,767	15,765	2
区庁舎・区民利用施設管理費	530,968	533,491	▲2,523
合計	678,991	681,383	▲2,392

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

分野	令和4年度予算	説明
重点分野の事業	58,228	
減災	14,017	みなみ減災推進事業<重>
賑わい	21,373	南区あったかいふるさとまつり事業<重> 魅力発信・賑わいづくり事業<重> ほか3事業
健やか	14,664	健やか元気応援事業<重> 地域福祉保健計画等推進事業<重> ほか2事業
こども	8,174	すこやか子育て支援事業<重> 青少年育成事業
地域の力・着実に取り組む事業	40,762	地域の力応援事業<重> 区役所運営事業<重> ほか7事業
計	98,990	21事業 (事業名の<重>は重点事業)

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区分	令和4年度予算	説明
統合事務費	33,266	各区共通で区の裁量が少ない事務費
統合事業費	15,767	各区共通で区の裁量が少ない事業費
広報よこはま南区版発行事業	7,345	広報よこはま南区版発行に係る経費
専門相談事業	1,404	法律相談等の専門相談に係る経費
クリーンタウン事業	288	美化推進重点地区の清掃に係る経費
消費生活推進員事業	295	消費生活推進員の活動に係る経費
緊急時情報システム運用事業	558	電話を利用した緊急時情報システムの運用経費
スポーツ推進委員支援事業	1,835	スポーツ推進委員の活動に係る経費
青少年指導員事業	3,112	青少年指導員の活動に係る経費
学校・家庭・地域連携事業	750	学校・家庭・地域の連携に係る経費
健康づくり月間事業	180	いきいきふれあい南なんデーの開催経費
計	49,033	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区分	令和4年度予算	説明
区庁舎	125,474	区庁舎・公用車等管理運営費
土木事務所	4,567	土木事務所管理運営費
公会堂	38,558	公会堂管理運営費
地区センター・スポーツ会館	161,488	地区センター(4館)・スポーツ会館管理運営費
青少年施設	7,965	こどもログハウス管理運営費
老人福祉センター	28,724	老人福祉センター(南寿荘)管理運営費
コミュニティハウス	91,232	コミュニティハウス(7館)管理運営費
スポーツセンター	38,467	スポーツセンター管理運営費
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	30,064	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費
その他施設(広場・遊び場)	1,229	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,200	
計	530,968	

令和4年度 南区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の重点

令和4年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業については、「減災」「賑わい」「健やか」「子ども」を重点として、変化する社会情勢の中にあっても、地域の元気や暮らしの安全・安心などにつながる取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った予算編成を進めるとともに、令和5年の南区制80周年に向けた準備経費を計上しました。

事業の実施にあたっては、脱炭素社会の実現や、デジタル化の推進といった全市的な取組の視点も踏まえながら進めていきます。



減災

大地震、台風などの被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助力と地域の共助力を高めるとともに、危機管理体制の強化に向けた取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

みなみ減災推進事業【重点事業】



賑わい

下町情緒あふれる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなどの資源を生かして、市内外に向けた魅力の発信に力を入れるとともに、区民のスポーツへの関心を高めます。

南区あったかいふるさとまつり事業【重点事業】

魅力発信・賑わいづくり事業【重点事業】

みなみ商店街等活性化事業

区民文化活動支援事業

区民スポーツ支援事業



健やか

食育の推進、生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、感染症予防への取組を継続します。

健やか元気応援事業【重点事業】

地域福祉保健計画等推進事業【重点事業】

認知症早期対応・見守り支援事業【重点事業】

いきいきシニア健康応援事業



子ども

子どもを地域とともに見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

すこか子育て支援事業【重点事業】

青少年育成事業

地域之力・着実に取り組む事業

交通安全、防犯対策、ごみの減量や多文化共生などの取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った区役所づくりを進めます。また、各地域の特色を生かした地域の活性化や課題解決に向けて、活動に携わる人材の発掘・育成等に、地域の皆さまとともに取り組みます。

地域之力応援事業【重点事業】

区役所運営事業【重点事業】

みなみ多文化共生推進事業【重点事業】

みなみチャレンジごみ減量事業

地域で守ろう私の安全安心事業

クリーン・グリーンロードみなみ

広報広聴事業

地域住民組織との連絡調整事業

食とくらしの衛生支援事業

令和4年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行状況

新規 令和4年度新規事業
代替実施 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って代替の事業を行うもの

1 減災

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です。

1 みなみ減災推進事業 <<重点>> 1,401万7千円 <令和3年度 1,359万円>
 総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上、地域で共に助け合う「共助」、災害対応力の向上のための「公助」に取り組みます。

※ <>は前年度の数値

【自助】

(1) 防災啓発事業 85万1千円

- ・区民の自助・共助意識向上のため、防災に関するフェアを実施します。
- ・自治会町内会や若年層を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発します。
- ・若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援します。

(2) 減災対策支援事業 248万2千円

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカーの設置費用の一部を助成し、区民の自助対策を支援します。

ア 家具 …… 件数 : 60件 <前年同>
 補助率: 重点対策地域及び対策地域※ 10分の9 <前年同>
 一般地域 3分の2 <前年同>

※「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」による重点対策地域及び対策地域

イ ガラス …… 件数 : 30件 <前年同>
 補助率: 3分の2 <前年同>

ウ 感震ブレーカー …… 件数 : 自治会町内会向け200件 <前年400件>
 (自治会町内会向け) 補助率: 5分の2 (危機管理室の補助(2分の1)に上乗せし、合計で10分の9補助) <前年同>

エ 感震ブレーカー …… 件数 : 個人向け200件 **新規**
 (個人向け) 補助率: 5分の2 (危機管理室の補助(2分の1)に上乗せし、合計で10分の9補助)

【共助】

(3) 災害時要援護者支援事業 268万9千円

- ・自治会・町内会担当者向け説明会を開催しました。(8月・2回)
- ・町内会向け出前講座(ご近助講座)を実施します。(6月・1町内会開催済)
- ・区保有の要援護者名簿及び要援護者の居所を表示した地図を自治会町内会に提供し、要援護者への声掛け、訪問活動等顔の見える関係づくりに向けた取組を支援します。
- ・要援護者名簿の受領により要援護者支援の取組を進める自治会町内会に対して、活動支援物品の支給等を行います。

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業 470万2千円

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄を更新します。
- ・風水害時に開設する避難場所用に、食料(水、クッキー等)の備蓄を拡充しました。(～7月)
- ・風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難指示対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持します。
- ・既存の防災用携帯電話端末を更新するとともに、回線を拡充しました。(7月) **新規**

(5) 地域防災拠点運営強化事業 268万9千円

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理を行い、災害に備えます。
- ・地域防災拠点訓練の充実が図れるよう、資機材取扱研修を実施します。
- ・地域防災拠点用に外国語翻訳端末を整備しました。(4月) **新規**

(6) 災害医療体制強化事業 60万4千円

- ・災害時においても安定した医療を提供できるように、南区災害医療物品等研修会（8月・3団体とも中止）、南区医療救護隊訓練（10月）、南区災害医療連絡会議（3月）を開催するとともに、医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図ります。

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none">○ 地域の防災担い手育成事業【総務局事業】（市合計1,605万1千円）<ul style="list-style-type: none">・町の防災組織のメンバーを対象にした研修の実施、及びそのフォローアップとして、地域にアドバイザーを派遣し、防災力向上に向けた取組を支援します。・市民防災センターで、市民の自助共助推進のための研修を実施します。○ 災害時要援護者支援事業【健康福祉局事業】（市合計1億5,536万7千円）<ul style="list-style-type: none">・災害時に要援護者の安否確認や避難支援等の活動が円滑に行われるよう災害時要援護者名簿の提供をはじめ、地域での自主的な支えあいの取組を支援します。
--------------	---

2 賑わい

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です。

1 南区あったかいふるさとまつり事業 《重点》 1,070万円 <令和3年度 1,170万円> 地域振興課

まつりの開催を通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進します。

- (1) 南区民まつり(仮称)補助事業 870万円 **新規**
- ・熱中症リスク等の夏の暑さ対策として、7月に実施していた南まつりと南区桜まつりを統合し、「みなみ桜まつり」として春に開催します。
 - ・区民相互の交流の促進やより一層の郷土愛を深め、南区の様々な魅力を区内外に広くPRするため、より魅力のあるまつりを創成します。
 - ・開催場所は、ライトアップを大岡川プロムナード(3/24~4/9)、イベントを蒔田公園(3/25、3/26)で予定しています。
 - ・また、脱炭素社会の実現に向けた区民の行動変容につなげる啓発を行います。

- (2) 南区桜まつり補助事業 200万円
- ・第32回南区桜まつりのライトアップ機材等の撤去を行いました。(4月)

関連する
主な事業

- 脱炭素プラス事業【温暖化対策統括本部から区配】(30万円)
- ・みなみ桜まつりにおける照明のLED化を進めます。

2 区民スポーツ支援事業 57万円 <令和3年度 433万5千円> 地域振興課

区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、引き続きポッチャの普及等に取り組みます。

- (1) スポーツ協会支援事業 30万円
- ・南区スポーツ協会主催の地域貢献事業(みなっちランニングフェスタ(12月)、みなっちスポーツフェスタ(2月))に補助金を交付します。
- (2) 区民体力づくり事業(南の丘トレイルウォーキング) 27万円
- ・区民の体力づくりを目的とし、アップダウンを含む10km以上の健脚者向けトレイルウォーキングを実施します。(11月)

3 魅力発信・賑わいづくり事業 <<重点>>

572万円

<令和3年度 373万円>
区政推進課

区の花「さくら」を中心とした南区の魅力を発信します。

(1) 区の花「さくら」普及啓発事業 182万円

- ・桜の時期の情報発信や小学生向け出前講座の実施、桜の剪定枝の提供などを通じ、区の花「さくら」の普及啓発に取り組みます。
- ・身近な場所で区の花「さくら」に触れていただけるよう、公園でのサクラソウ栽培や、個人へのコスモス(秋桜)種配布など、普及花の取組を強化します。

(2) 魅力発信事業 390万円

- ・南区ガイドマップを発行するとともに、新たに、南区ならではの飲食店の魅力発信として、「みなみのおすすメシ」事業に取り組みます。(募集:7月~10月、認定:3月) **新規**
- ・下町情緒や、歴史・文化、人情味あふれる人々など、南区の多彩な魅力を発信するPR動画を制作します。(~12月) **新規**
- ・民間事業者等と連携し、区外からの誘客促進につながる取組を実施します。

関連する
主な事業

- 「Garden Necklace YOKOHAMA 2022」18区連携事業【環境創造局から区配】(200万円)
- 街路樹管理事業【道路局から区配】(500万円)
- まちなかでの緑の創出・育成事業【環境創造局から区配】(650万円)

4 みなみ商店街等活性化事業

270万円

<令和3年度 305万円>
地域振興課

地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街等の活性化を図ります。

(1) 商店街活性化イベント補助事業 50万円

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

(2) 商店街等活性化支援事業 220万円

- ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」(10月)及び防災フェスタと合同で行う「商店街フェスタ」(2月)を南区商店街連合会と連携して開催します。
- ・商店街PRビデオの放映及び各商店街が制作しているパンフレットについて各所での配架を行い、市民や来訪者などに広く目に留まるようPRを行います。

関連する
主な事業

- 横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から区配】(市合計2,800万円)
・商店街が実施する地域とのふれあいや賑わいを創出するイベントを支援します。

5 区民文化活動支援事業

168万3千円

〈令和3年度 168万3千円〉

地域振興課

区民が主体的に行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、南区文化賑わい支援補助金にて活動団体を支援します。また、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供するために、読書活動推進講演会等を開催します。

(1) 南区文化祭支援事業 105万円

- ・南区文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付しました。(5月)
(11/3、11/5、11/6・みなみん(南公会堂)・多目的ホール)

(2) 南区文化賑わい支援事業 50万円

- ・区民の文化活動の活性化又は賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金交付による支援を行います。(2団体)

(3) 南区読書活動推進事業 13万3千円

- ・区内における読書活動を推進するため、読書活動推進講演会を実施します。また、読書活動の担い手である区内施設の職員やボランティアを対象とした図書講座を実施します。
(講演会：9月(南図書館30周年事業として実施)、12月/図書修理講座等：3月)

3 健やか

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です。

1 健やか元気応援事業 <<重点>>

723万3千円

<令和3年度 894万6千円>

福祉保健課 高齢・障害支援課 保険年金課

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援します。

(1) 健康づくり推進事業 229万9千円

- ・幼少期からの食育を推進し、市全体と比べると低い野菜摂取量の向上を目指し、区で行う事業や地域のイベント等で、推定野菜摂取量（ベジチェック®）を測定し、食生活を考えるきっかけとします。
- ・生活習慣病の発症や悪化を予防するための講座を実施します。
- ・生活習慣改善につなげるための相談やイベントでの啓発を通じて健康習慣定着に向けた風土づくりを行います。
- ・食育関係者との意見交換や食育普及啓発のイベント等を実施します。
- ・がん、結核・HIV、禁煙・受動喫煙（5月世界禁煙デー・区役所・約60人）、オーラルフレイルなどの健康情報発信を行います。

(2) 国民健康保険特定健診受診率向上事業 32万9千円

- ・国民健康保険特定健診未受診者に電話により受診勧奨を行います。
- ・受診啓発物品を作成し、新規加入者等への受診啓発に取り組みます。

(3) 自殺対策事業 65万円

- ・区民や、地域の支援者が悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つながり」ができるように区民向け、関係団体等支援者向けに研修を実施します。（9月、みなみん（南公会堂））
- ・南区職員全員がゲートキーパーになることを目標に、ゲートキーパー研修を実施し、受講者に『南区ゲートキーパーカード』を配布することで、職員の意識向上につなげます。（4月・転入者研修・80人参加）
- ・職員向け研修を健康福祉局・総務局と共催で実施しました。（8月・みなみん（南公会堂）・147人参加）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自殺リスクが高まっているため、鉄道事業者や関係団体等と連携して、ポスター掲出を通じて普及啓発を図ります。
- ・自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施します。

(4) 障害者サポート事業 173万5千円

- ・障害者の定期的な運動機会の確保を通して、自主的な健康づくりを目的に、区内の障害福祉サービス事業所の利用者を対象とした出張形式の運動指導を行います。（5～3月）
- ・食生活や口腔ケア等の生活習慣に関連した健康管理の普及啓発を目的に、区内の障害福祉サービス事業所を会場とした出張講座を実施します。
- ・地域精神保健家族会に対し、医療専門職がアドバイザーとして精神障害者の健康の保持増進に関する学習会を行いました。（6月、7月）
- ・障害児者の支援機関や当事者団体と連携し、障害者施設・作業所をまとめたパンフレットの周知を通して、障害者と地域がつながるきっかけづくりを進めます。
- ・障害に関する相談支援機能の充実を目的として、障害児・者の相談支援を行う事業所を対象としたスキルアップの研修に取り組みます。（7月、9月） **新規**

(5) いきいきふれあい南なんデー 222万円

- ・健康福祉まつりの開催を通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図ります。（10/2）

関連する
主な事業

- 新型コロナウイルス感染症対策の実施（感染拡大防止に向けた取組）
保健所体制の強化【健康福祉局から区配】（市合計12億7,676万円）
・疫学調査などの感染症業務に対応する保健所の危機管理体制を強化するため、会計年度任用職員の採用及び人材派遣契約の活用により、人員を確保します。

2 地域福祉保健計画等推進事業 <<重点>>

324万5千円

<令和3年度 430万円>

福祉保健課

第4期南区地域福祉保健計画について、区民との協働により推進します。また、イベントや広報紙発行により、計画の啓発を行います。

(1) 南区地域福祉保健計画推進事業 197万円

- ・第4期計画の策定を区民に広く周知し、推進するため、スタートアップイベントを開催しました。(7月) **新規**
- ・第4期計画で特に取り組むべき地域福祉保健の課題解決を目的に、関係機関等による検討会を開催します。
- ・様々な広報媒体を通じて、計画の進捗や地域福祉の活動事例を共有します。

(2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業 3万5千円

- ・南区の保健・医療・福祉等の連携強化等を目的として、関係者や団体から助言をいただく懇談会を開催します。(3月)

(3) 地区別計画応援事業 124万円

- ・地区社会福祉協議会に、地区別計画に位置付けられた事業に対する補助金を交付しました。(10地区)
- ・地域活動団体に、第4期計画(地区別計画を含む)の推進に寄与する活動に対する補助金を交付しました。(2団体)

関連する
主な事業

○ 地域福祉保健計画推進事業(市合計1,702万6千円)

- ・第4期横浜市地域福祉保健計画を推進します。また、第4期区計画(計画期間令和3年度~7年度)の推進を支援します。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

また、高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取組を進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めます。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業 43万円

- ・地域包括ケアシステムの構築とその啓発に向け、「地域包括ケアシステムの構築に向けた南区アクションプラン」を周知し、取組を進めます。
- ・各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議について、地域分析を深める地区に講師を派遣する等の開催支援を行うとともに、区レベル地域ケア会議の開催を行います。(2月)

(2) お元気21高齢者推進事業 86万3千円

- ・介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かいご予防サポーター」の養成と活動支援を行いました。(5～6月・全5回・28人)
- ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施(7会場(3会場実施済))するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施します。

(3) 地域ささえあい活動推進事業 107万1千円

- ・民生委員等による高齢者等への定期訪問事業を支援します。

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケア推進事業費【健康福祉局から区配】(40万円) ○ 介護予防・生活支援サービス事業【健康福祉局事業】(市合計92億1,196万円) ○ 介護予防普及啓発事業【健康福祉局事業】(市合計3,190万円) <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくりや介護予防について、リーフレット等の配布や講演会の開催をとおして普及啓発を行います。 ○ 地域介護予防活動支援事業【健康福祉局事業】(市合計1,427万円) <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の開催により、地域の介護予防に関する活動の活性化や人材育成を行います。 ○ 元気づくりステーション事業【健康福祉局事業】(市合計1,071万円) <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動(元気づくりステーション)について、新規立ち上げ等の支援を行います。 ○ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業【健康福祉局から区配】(市合計2,327万円) <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上のひとり暮らし高齢者等について、横浜市が保有する個人情報をもとに民生委員に提供し、高齢者等への定期訪問につなげていきます。
--------------	---

4 認知症早期対応・見守り支援事業 <<重点>>

182万2千円

<令和3年度 283万3千円>

高齢・障害支援課

認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行います。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指します。

(1) 認知症の啓発 85万1千円

- ・地域ケアプラザ等身近な場所で医師などによる講演会を実施します。
(7月・吉野町市民プラザ・約140人参加、11月・区役所)
- ・区民の多く集まるイベントなどで、リーフレットやタッチパネルによる物忘れ相談プログラムを活用し、認知症の早期発見や早期診断につながるきっかけをつくります。
- ・認知症キャラバン・メイト支援のための講座等を開催しました。(6月) 新規
- ・地域情報誌等を活用し、認知症の啓発に取り組みます。
- ・南区独自の「南区版オレンジリング」を作成・配布します。

(2) 認知症サポート医との連携 6万2千円

- ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医を中心とした体制で認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討・実施します。
- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催します。

(3) 見守り支援 23万3千円

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)や協力機関(公共交通機関)と運用していきます。
- ・あんしんネットワーク連絡会を開催し、認知症に関する知識や協賛、協力機関の課題を共有及び支援体制の強化を図り、地域の見守り・早期発見体制(ネットワーク)の向上に取り組みました。(7月)

(4) 権利擁護の啓発 67万6千円

- ・広く区民に対し、自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解と終活に関する普及啓発を目的とした「講演会」を開催します。(7月・57人参加、10月)
- ・成年後見制度に係る教材DVDを作成し、周知啓発を図るツールとして活用します。 新規

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症支援事業【健康福祉局事業】(市合計13,805万円) <ul style="list-style-type: none"> ・専門医師等による認知症に関する保健福祉相談を実施します。 ・認知症サポーター、認知症キャラバン・メイトを養成します。 ・認知症早期発見事業として、65歳以上を対象に、市内の医療機関で問診による検査を本格実施します。 ○ 市民の意思決定支援事業【健康福祉局事業】(市合計778万円) <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく暮らすことができるよう、エンディングノートを作成し、活用のための講座を開催します。
----------------------	--

1 すこやか子育て支援事業 <<重点>>

681万円

<令和3年度 545万円>
こども家庭支援課

養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止します。

- (1) 赤ちゃん学級 69万7千円
 - ・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催します。(10回/1会場あたり)
- (2) 土曜両親教室 28万6千円
 - ・両親教室(平日開催)に参加が困難な就労妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催します。(6月、9月、12月、3月)
- (3) 児童虐待予防事業 216万2千円
 - ・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行います。
 - ・アドバイザーの助言や居場所マップの配布を通して、子ども食堂などの居場所づくり活動を支援します。また、子どもの居場所マップの配布や居場所の活動団体のポスター掲示を通して、子どもの居場所を地域に広く周知します。(5月・居場所マップ区内市立小中学校配布、6月・区役所ギャラリーにてポスター展示)
 - ・地域で子どもや養育者を見守り、児童虐待を未然に防ぐために、子育て支援に取り組む支援者を対象に「支援者スキルアップ研修」を実施します。
- (4) 障害児地域交流活動推進事業 35万円
 - ・障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児支援運営委員会」に補助金を交付します。
- (5) 子育て情報提供事業 142万5千円
 - ・子育てに関する相談窓口を紹介する「こども家庭相談リーフレット」や、地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を更新作成します。
 - ・個別支援を効果的に実施するため、窓口等でタブレット端末も活用した相談支援を行い、妊娠期から切れ目のない育児支援を行います。
- (6) 保育園応援隊 12万7千円
 - ・保育園児の健全な育成を図るとともに、地域へ貢献し連携を深めるため、花苗の手入れや公園清掃などのボランティア活動を、地域の方々と保育園児が一緒に行います。
- (7) みなっち杯えきでん交流事業 71万8千円
 - ・区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会の開催を予定していましたが、今年度も新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、年長児による共同作品をデザインしたポスターを作成し、区内の京浜急行4駅、市営地下鉄4駅及び区役所内の区民ギャラリーに展示します。(11~12月) 代替実施
- (8) みんなでおどろう南区音頭 104万5千円 新規
 - ・区内の幼稚園及び保育園間の交流を促進するとともに、地域への愛着を深めてもらうため、区制80周年に向けて南区音頭の踊り方の説明用DVDを作成し、各園に配布します。DVDをもとに各園で園児に踊ってもらうとともに、先生向けの講習会を開催します。

関連する主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ こども家庭総合支援拠点の整備【こども青少年局から区配】 (市合計6億7,543万円) ・区こども家庭支援課に、児童福祉法に基づく拠点機能を整備し、区役所において、要保護児童等の支援が必要な子ども・家庭への支援を強化します。 ○ 児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から区配】 (市合計1億836万円) ・児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくり、人材育成を推進します。 ○ 寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から区配】(市合計3億1,433万円) ・養育環境に課題のある小・中学生を対象にして、基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施します。
----------	--

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付します。

(1) 青少年活動補助金 91万円

- ・区民少年野球大会（5/15～7/24）を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ補助金を交付しました。（5月）
- ・青少年異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」（7/16～17・御殿場キャンプ場）を実施する青少年指導員協議会へ補助金を交付しました（5月）。
- ・青少年の作文募集・表彰・朗読発表を行う「ボイス・オブ・ユース事業」（12/4・みなみん（南公会堂））を実施する青少年指導員協議会へ補助金を交付しました。（7月）

(2) 学校と地域の交流応援事業 45万4千円

- ・地域との調整等により、区内学校の児童・生徒と地域住民との交流活動を支援します。
- ・学校・地域コーディネーターの活動促進のため、学校・地域コーディネーターとともに、連絡会、研修会を企画・実施します。（7月、11月、2月）
- ・市立横浜総合高校が「総合的な学習の時間」の一環として実施する「横総生にオファーです」において、地域の課題解決策の提案を生徒に依頼します。（7～1月）

1 地域の力応援事業 <<重点>>	390万円	<令和3年度 364万円> 地域振興課 区政推進課
-------------------	-------	------------------------------

地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域の力を応援するための基礎となる取組を行います。

- (1) 地区別情報収集・提供事業 150万円
 - ・最新の国勢調査結果に基づき、地域別データ集を更新します。
 - ・地域別データ集を様々な地域活動に活用できるよう、区ホームページで提供します。

- (2) 地域づくり応援事業 210万円
 - ・地域で活動する人や、自治会町内会と連携した活動の好事例を地域情報誌「キラリ」で発信します。(年4回発行)
 - ・地域活動への参加促進や、人材づくりを進めるため、これから地域活動を始める方向への講習会(寺子屋みなみ)を開催します。(9~3月)
 - ・南区元気な地域づくり補助制度の交付団体及び南区地域福祉保健計画推進団体が、自らの活動を振り返るとともに、他の団体へ情報提供するために、地域活動発表会を開催します。(2月)
 - ・地域が自ら課題解決や魅力づくりに取り組めるよう、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催(5~6月・513人参加)を支援し、まちづくり等の専門家を派遣します。
 - ・新たな活動スタイルのきっかけづくりを応援するため、ICT機器の体験講習会や専門家の派遣を実施します。
 - ・区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け研修を実施します。

- (3) 地域の力応援補助金事業 30万円 新規
 - ・地域活動の人材づくりをさらに促進できるよう、新たに地域の課題解決等に取り組む団体に対し、補助金の相談・受付を行い、交付決定しました。(2団体)

関連する 主な事業	<p>南区元気な地域づくり推進事業【市民局支配】127万2千円 自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体や人々と区役所が連携して、地域課題の解決に向けた取組を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活動補助金事業 35万円 <<継続団体分のみ>> <ul style="list-style-type: none"> ・地域による地域課題解決に向けた取組を支援するため、みなみ・ちからアップ補助金の相談・受付を行い、交付決定しました。(1団体) ○ 地域人材づくり事業 92万2千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決や人材づくりを目的とした自治会町内会活動等の次代の担い手となる人材育成のための講座(寺子屋みなみ)を実施します。(9~3月)
--------------	---

2 クリーン・グリーンロードみなみ

70万円

〈令和3年度 60万円〉
南土木事務所

地域の身近な道路の清掃、美化活動を行うハマロード・サポーターと協働を進め、区民の大切な財産である街路樹を適切に維持管理する手法の検討や対策を実施していきます。

(1) ハマロード・サポーター協働事業 70万円

- ・3年度に作成した「低木植樹帯管理マニュアル」を印刷し、ハマロードサポーターに配布します。
- ・低木植樹帯の管理を地域のハマロード・サポーターと協働で実施するとともに、新たに定めた補植重点区域を中心に、植樹帯への補植を進めます。

1 区役所運営事業 <<重点>> 1,090万3千円 <令和3年度 498万6千円>
 総務課 税務課 区政推進課 地域振興課 戸籍課 保険年金課

市税の申告時期に身近に相談できる場の提供や、窓口混雑状況を区ホームページから配信するなど、区役所利用者の利便性向上を図るほか、来庁者に配慮した庁舎環境を整備します。また、区民の脱炭素社会への関心を高めるため、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会の提供や、身近な緑の維持・保全に取り組むとともに、区民利用施設等でLED照明への改修を行います。さらに、令和5年の区制80周年に向けた準備を進めます。

- (1) 人権啓発推進等事業 49万4千円
 - ・区民を対象とした人権啓発講演会を実施します。(11月・みなみん(南公会堂))
 - ・職員向け人権啓発研修を実施します。
- (2) 庁舎環境整備事業 371万6千円
 - ・必要性や緊急度に応じて、庁舎環境の改善を図ります。
 - ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務を行います。
- (3) 市税啓発事業 78万円
 - ・税の申告でお客様が集中し混雑する期間に合わせて、適切に窓口を案内するスタッフを配置するとともに、専門家による申告相談を実施することで、混乱防止、待ち時間の短縮、申告体制の充実等、区民サービスの向上を図ります。(2~3月)
- (4) 区政推進事業 88万円
 - ・南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めます。
- (5) 統計概要の作成 56万円 <56万円>
 - ・各種統計によって得られた資料をまとめた統計概要「統計で知る みなみ」を発行します。(3月)
- (6) 脱炭素行動普及啓発事業 147万3千円
 - ・区民利用施設で環境負荷が軽減できるLED照明設備に改修します。(4~10月) **新規**
 - ・民間企業等が提供する環境に関する出前講座を区内市立小学校に紹介・実施します。(7~3月)
 - ・希望する個人や地域のグループに対し、緑のカーテン栽培物品等を提供しました。(4月)
 - ・花の種・苗等を、区内の市立小・中学校、保育園へ配布します。(9~3月)
- (7) 窓口サービス向上事業 200万円 **新規**
 - ・戸籍課及び保険年金課の窓口発券機を更新し、混雑状況をリアルタイムに区ホームページから配信することで、窓口サービスの向上を図ります。
- (8) 区制80周年記念事業推進費 100万円 **新規**
 - ・令和5年12月の区制80周年に向けて、区民、区役所が一体となり、周年を祝う様々な取組を展開していくため、実行委員会を設立(6/20)し、補助金を交付します。

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業【環境創造局から区配】 (市合計6,800万円) ○ 空家化の予防、空家の流通・活用促進、改善指導等の取組強化【建築局】 (市合計6,034万円) ・地域などからの情報をもとに、空家の所有者調査や現場調査を効果的に行い、管理不全な空家の状況を継続的に把握します。そのうえで、所有者への「専門家派遣」や「住宅除却工事費補助」などの支援を通じて自主改善を促します。 ○ 脱炭素プラス事業【温暖化対策統括本部から区配】(30万円) ・民間企業が提供する環境に関する出前講座を区内市立小学校に紹介する冊子を更新します。
----------------------	--

2 広報広聴事業

225万2千円

〈令和3年度 162万4千円〉

区政推進課

区内のバス路線や市民利用施設のほか、急病時の連絡先など、生活に役立つ情報をまとめた区民生活マップを作成し、転入される方にお渡しするほか、総合案内窓口で配布します。また、南区マスコットキャラクター「みなっち」の普及を進めるとともに、区民のご意見ご要望を伺い、区政・市政に反映させる広聴事業を行います。

(1) 広報・広聴事業 225万2千円

- ・区民生活マップを発行し、区民や希望者へ配布します。
- ・南区マスコットキャラクター「みなっち」のイラストパターンを見直し、適正な管理に向けたガイドラインを作成します。

3 みなみ多文化共生推進事業 <重点>

692万3千円

<令和3年度 787万1千円>

地域振興課 区政推進課 こども家庭支援課

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行います。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣、チラシの翻訳を行うほか、ごみ集積場所に掲示するステッカーを多言語で作成する等、適正排出を促進します。

(1) 外国人共生支援事業 209万8千円

- ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行います。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳やイベント等への通訳派遣を行います。
- ・外国籍等青少年の地域・社会での活躍促進等を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交換会、外国籍等青少年の交流会などを実施します。

(2) 学校を核にした多文化共生事業 106万円

- ・外国籍等の児童が多い小学校で、外国人ボランティアによる外国の文化や言葉、スポーツ、遊びなどを紹介するプログラムを実施します。また、保護者や地域の方々が参加できる機会をつくり、地域における多文化理解を推進します。(対象校：南吉田小、中村小、日枝小、石川小、太田小、蒔田小)
- ・小学校で活動する外国人ボランティア初心者向けの研修会を実施します。(10月・日本語、英語、中国語で実施)

(3) 多言語による窓口案内事業 237万8千円

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置します。
- ・来庁者の多い窓口職場にタブレット端末を設置し、テレビ電話通訳(英語・中国語ほか)による案内を行います。
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中国語)をホームページに掲載し、転入者や希望者へURL及び二次元コードが記載されたちらしを配布します。

(4) 多言語による子育て支援事業 118万7千円

- ・乳幼児健診時に通訳を配置します。(中国語・英語・タガログ語)
- ・各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行います。(中国語・英語・タガログ語・ハングル)

(5) 多言語によるごみ適正排出促進事業 20万円

- ・ごみ適正排出促進ステッカー(英語・中国語ほか)などを作成し、ごみ集積場所に掲出します。
- ・外国籍等の住民に対し、日本語教室などでの出前講座を実施します。

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人相談対応強化事業【国際局事業】(市合計1,887万6千円) <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、在住外国人への情報提供・相談対応等を強化するため、国際交流ラウンジ・横浜市国際交流協会及び区役所窓口におけるICT機器を活用した通訳対応及びリモート化支援等を行います。 ○ 外国人材受入・共生推進事業【国際局から区配】(525万円) <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材の集住が進む寿東部地区等における地域コミュニティの課題解決に向け、国際交流ラウンジにコーディネーターを配置し、機能強化を図ります。
----------------------	--

横浜市一般廃棄物処理計画（ヨコハマ3R夢プラン）の南区削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進します。

(1) ヨコハマ3R夢プラン推進事業 215万円

- ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（①プラスチック対策、②食品ロス削減）を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進します。
- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭等）での啓発活動に加え、2つの重点分野を啓発するポスターの掲出を行います。
- ・保育園、幼稚園、小学校に訪問して出前講座を行います。
- ・区役所にて3R夢会議を4地区ずつ計4回開催します。
- ・単身者向け賃貸住宅の居住者にごみ出しルールを広めるため、神奈川県宅建協会加入店舗を通じてリーフレット等広報物を店頭に配置し、PRを促進します。

(2) 街の美化推進事業 110万4千円

- ・街の美化活動をきっかけに地域の輪を広げていくことを目指して、清掃月間イベントを実施します。（11月）地域や事業者、学校等それぞれの団体が日頃独自に行っている清掃活動を一緒に行い、街の美化だけではなく多世代交流、健康促進等、横のつながりを持った活動につなげます。
- ・不法投棄排出防止看板等の告知物を製作し、関係機関と連携して区域での啓発を実施します。
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉の時期に、障害者地域作業所へ委託します。（4月、10～12月）

(3) 南区環境にやさしい街づくり 13万5千円

- ・区推進本部会議、功労者表彰式を実施しました。（5月）

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3Rの推進【資源循環局事業】（市合計907万1千円） <ul style="list-style-type: none"> ・3Rを推進するため広報・啓発・環境学習を通じて、市民・事業者の実践行動を推進します。 ○ 発生抑制等推進事業【資源循環局事業】（市合計2,490万7千円） <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの発生抑制や分別・リサイクルを推進します。また、食品ロスの削減に向け、家庭での実践に役立つ情報発信等を行います。 ○ クリーンタウン横浜事業【資源循環局事業】（市合計1億5,779万9千円） <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙禁止地区の巡回指導を行うとともに、歩きたばこ防止や喫煙マナー向上に取り組めます。また、駅周辺などにおける清掃活動・美化活動に取り組む企業や団体を支援し、地域や市民・事業者の皆様と連携した美化活動を展開します。
----------------------	---

5 地域住民との連絡調整事業

348万円

<令和3年度 348万円>

地域振興課

地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施します。

(1) 配送業務の委託 174万7千円

- ・区等が自治会町内会に依頼する配布物等を各団体が指定する場所に配送します。(8月、12月を除く各月)

(2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施 108万3千円

- ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し感謝状と記念品を贈呈します。(3月)
- ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈します。(3月)

(3) 自治会町内会加入促進及び自治会町内会支援 65万円

- ・宅建協会南支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めます。
- ・若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを配布し、将来の担い手確保につなげます。

関連する
主な事業

- 地域活動推進費【市民局から区配】(市合計8億4,444万円(自治会町内会分))
 - ・自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む市・区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全対策や防犯活動支援等を行うとともに、地域での意識を高める啓発を実施します。

(1) 交通安全支援事業 104万6千円

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました。(4～5月)
また、地域の交通安全教室等を支援します。
- ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行います。
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施します。(9月)
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介します。
- ・南交通安全協会との協働事業によりランドセルカバーを作成します。

(2) スクールゾーン対策事業 190万3千円

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面標示等の新設・補修します。(7～3月)
また、スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(7～8月)

(3) 放置自転車対策事業 136万円

- ・区内鉄道8駅に、自転車等マナーアップ監視員を配置します。

(4) 防犯啓発活動 91万6千円

- ・特殊詐欺を防止するツールとして、県の補助金(神奈川県特殊詐欺被害防止対策事業補助金)を活用し、警察が推奨する抑止効果の高い、迷惑電話(特殊詐欺)防止機能付き電話機などの活用の支援を実施します。
- ・被害が絶えない特殊詐欺対策を引き続き強化するため、キャンペーン、防犯教室、地域紙を活用した啓発などを警察と連携して実施します。
- ・消費生活推進員や地域の方が行う防犯活動を広報、周知することで、活動の機会を増やすことにつなげます。

(5) 地域防犯活動支援 291万4千円

- ・こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、昨年度と同様に新入学児童へ防犯ブザーを配布します。(3月)
- ・自治会町内会への防犯物品の配布(7月)、委託による防犯パトロール等を行います。

(6) 防犯情報提供等 5万円

- ・安全で安心なまちづくりを推進するための啓発を行います。(10月)
- ・登録した区民へ防犯情報等をメール配信します。

関連する
主な事業

○ 自転車マナーアップ事業【道路局から区配】(406万円)

- ・自転車等マナーアップ監視員を配置し、交通の妨げとなる放置自転車の防止活動を行います。また、自転車のマナーアップに関する啓発活動を行います。

7 食とくらしの衛生支援事業

102万6千円

〈令和3年度 103万9千円〉

生活衛生課

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行います。また、ペットの飼育マナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発を行います。さらに、高齢者施設で動物ふれあい活動を行っているボランティア団体の支援を行います。

(1) 食品衛生知識の普及・衛生支援事業 46万6千円

- ・南区内の飲食店等に対し、食中毒予防に関するリーフレットを配布し、衛生知識の普及啓発を行います。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを継続して周知します。

(2) 動物適正飼育及び災害時ペット対策推進事業 56万円

- ・飼い主のマナーに関するチラシ等の配布を行います。
- ・災害時用ペットカードを活用した普及啓発を行います。
- ・地域防災拠点のペット対策支援のため、一時飼育場所開設キットを作成し配布します。 **新規**
- ・ペットの飼い主向け講演会を開催します。(11月)
- ・動物ふれあい活動を行っているボランティア団体の活動を支援します。
- ・衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行います。

<案>

資料 3

(3) 令和5年度南区個性ある区づくり推進費の編成に向けての考え方について

区民の皆さまとの協働のもと、
より一層「あったかい」南区をつくります。
～令和5年12月、南区は区制80周年を迎えます～

令和5年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費予算については、変化する社会情勢に対応しながら、区民の皆様の安全・安心を守るとともに、人々のつながり、あったかさを感じられる地域づくりを目指し編成を進めてまいります。

特に、令和5年は区制80周年という記念すべき年となります。長引くコロナ禍の影響を受け、薄れかけている地域のつながりや、賑わいを取り戻すこともしっかり意識しながら、多面的に記念事業に取り組んでいきます。

令和5年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

各事業の推進にあたっては、区制80周年を契機にしながら、地域のつながりや賑わいづくりに一層貢献していくため、相互に連携させるなど効果的に取り組んでいきます。

重点分野1 賑わいに満ち 住み続けたいと感じるまちづくり

下町情緒あふれる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなどの資源を生かして、区内外に向けた魅力の発信に力を入れるとともに、地域経済の活性化に資する取組を進めます。また、区制80周年を多くの地域の皆様とお祝いできるよう、様々な記念事業に取り組みます。

重点分野2 誰もが健康で自分らしく暮らせるまちづくり

年齢や国籍、障害の有無などに関係なく、区民一人ひとりが住み慣れた地域や自らが望む場で自分らしく暮らせることを目指し、子育て支援の充実や青少年の健全育成、健康の維持・増進や介護予防、障害者支援など様々な取組を進めます。

重点分野3 安全で安心して暮らせるまちづくり

大地震、台風などの被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助力、地域の共助力及び地域防災力を高める活動を推進するとともに、交通安全や防犯対策、まちの美化などに地域の皆様と取り組みます。

重点分野4 地域の皆様と共に歩む区づくり

各種広報媒体を通じて区の様々な情報を発信するほか、地域の活力アップや、地域活動に携わる人材の発掘・育成等に取り組みます。また、使いやすい区役所づくりに取り組みます。